

令和6年度使用西多摩地区町村立小学校教科用図書 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立学校教科用図書採択協議会

	国 語 (光村図書)	書 写 (光村図書)
内 容	<p>①巻頭に、「国語の学びをみわたそう。どうやって学んでいくのかな」として、学習の進め方が掲載されている。また、領域ごとに、前年度の既習事項と今年度の学習とのつながりが示されている。</p> <p>②単元末等に関連図書が掲載されている。</p> <p>③巻頭に「話す・聞く」の内容が配置されている。</p> <p>④学習題材の内容区分が、「書く」「読む」「話す・聞く」の領域ごとに示されている。(★)</p> <p>⑤単元末に、「たいせつ」として、まとめがある。(★)</p>	<p>①第1・2学年では、「しょしゃのすたーとぶっく」として、文字を書く姿勢や鉛筆の持ち方を示している</p> <p>②第3学年では、「毛筆スタートブック」として「考えよう」「たしかめよう」「生かそう」となっている。</p> <p>③第4学年では、「書写 広げたい」として、理科や国語などでのノートのまとめ方やリーフレットの書き方などを示している。</p> <p>④第5学年では、外国語の文字についての記載がされている。(★)</p> <p>⑤第6学年では、「書写ブック」として、6年間の学習のまとめを載せている。(★)</p> <p>⑥第4学年では、「SDGsブック」があり、書写の学習の中から、考えていくようになっている。</p>
構成・分量	<p>①第5・6学年は、年間通じて1冊になっている。その他の学年は、上下2冊である。</p> <p>②付録として巻末に、学習した内容のまとめ、学習で活用する内容、説明的文章や文学的文章が掲載されている。</p> <p>③教科書の巻頭にそれぞれの単元(教材)で付けたい力が領域ごと単元(教材)ごとに掲載されている(第2学年以上)</p> <p>④単元の流れが、読む教材の場合は、「とらえよう」「ふかめよう」「まとめよう」「ひろげよう」と表記されている。書く教材の場合は、「見通しをもとう」「決めよう(集めよう)」「組み立てよう」「書こう」「つなげよう」「ふりかえろう」と表記されている。話す聞く教材の場合は、「見通しをもとう」「決めよう(集めよう)」「準備しよう」「話そう(聞こう)」「つなげよう」「ふりかえろう」と表記されている。(★)</p>	<p>①第3学年以上は、書写の学び方の流れが「①考えよう」「②確かめよう」「③生かそう」と掲載されている。(★)</p> <p>②巻末には、これまで学習してきたことが「〇年生のまとめ」として掲載されている。</p> <p>③第4学年には、SDGsブック(4ページ)が付いている。</p>
表記・表現	<p>①第1学年の教科書では、巻頭から数ページはイラストのみで示されおり、文字はほぼ記載されていない。</p> <p>②全体的に文字はやや小さめで、イラストはシンプルに掲載されている。</p> <p>③単元末には「話す・聞く」「書く」「言葉」「読む」の項目ごとに振り返りがあり、学習のまとめができるようになっている。(★)</p>	<p>①第1学年の巻頭「もじたんけんたい」には、教室や学校にある身近な写真から、文字を探し出すようになっている。</p> <p>②「えんぴつのもちかた」には、児童の右手の実物大の写真が掲載されており、右手の鉛筆の持ち方が示されている。左手の持ち方の写真等はない。左右の持ち方は二次元コードを読み取ることで見るできるようになっている。(★)</p> <p>③第1・2学年の巻末には、水書用紙が付いており、十字マスにひらがなやカタカナが練習できるようになっている。</p> <p>④全体的にマスの数はやや少なく、イラストが大きめである。</p>
使用上の便宜	<p>①第1学年～第4学年が分冊になっていて第5・6学年は1冊にまとめられている。</p> <p>②目次に「読む、話す・聞く、書く」といった学習の観点が色分けして書かれている。</p> <p>③学校で使う日本語、英語、ポルトガル語、中国語、フィリピン語、スペイン語、ベトナム語がデジタルコンテンツにある。(★)</p> <p>④動画や写真のデジタルコンテンツがある。</p> <p>⑤付録学習を広げようで、他教科へ活用できるように、「大切のまとめ」「本の世界を広げよ」「インタビュー」「学習に用いる言葉」「言葉のたから箱」「図を使って考えよう」がある。</p> <p>⑥大単元の説明文の前に短い説明文があり、スモールステップを踏んで、次の学習に生かせるようにしている。</p> <p>⑦巻末のところにも、まとめて参考図書が掲載されている。(★)</p>	<p>①毛筆の単語1つにつき二次元コードによる書くポイントの動画が付いている。1つの動画につき真上からと斜め横からの2つの視点による解説となっている。(★)</p> <p>②毛筆を使った学習のポイントの動画が9点ある。(持ち方、腕の使い方、用具の片付けなど)</p> <p>③書写で学んだことを他の学習で生かす項目(原稿用紙、手紙、はがき、新聞、ポスター)がある。(★)</p> <p>④書写体操が掲載されている。鉛筆の持ち方が写真とイラストで掲載されている。</p>